

濱田部隊の戦死者

石城關係の四勇士

○鈴木義廣一等兵、鹿島村の久保出身、濱田部隊に於て二十日の〇〇戦に於て名譽の戦死を遂げた。同日二十五日原隊から発表、同君は父金藏(四九)氏母けさ(四三)さんの長男で、實家は石城のほかに第五、父は小名濱町日菜工場に勤めてゐる。田子仁彌一等兵、泉村の大字出身、同じく濱田部隊に於ける二十日の〇〇戦に於て戦死を遂げた。同君は父寛(四九)氏母きち(四三)さんの長男で、實家は石城の外に弟妹二人あり農業を営んでゐる。

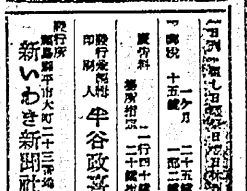
○工藤辰雄一等兵、勿來町の町通出身、濱田部隊に於て六月十八日中支隊に活躍中名譽の戦死を遂げた。同日二十四日實家に公電された、留守宅には父徳藏(四九)氏母きく(四三)さんの外弟妹四人がある。

○酒井出、立花部隊下にあり五月十六日湖北省宜城縣の戦に戦死せる。同日十三日部隊長から通知があつた。實家は父三太郎氏(五三)母いし(四三)さんと弟妹三人ある。

統制の裏をみるく 不正米の不当利

等外品の白米を一等と偽り 七分搗を五分搗で賣る

平糶に於ける米穀商の不正を洗ふ。數日來の活動は統制の裏を歩く。當業者をして極度に戦慄せしめてゐるが石城は米の消費地であるだけに違反關係が擴固に波及し濱三郡その他に累をのべて昨廿五日は他郡區から相當の人物を檢査取調へを進めてゐる。同署今回の活動による檢査は十數件に上り四十餘名の關係者に達してゐる。不正商人等が偽つて値を上げるものは白米に不當な格上げを行ふ。飯米の販賣に浮ぶ瀾がある爲で



支那軍語

早くよくせよを好む兒の快做でハオハオルチクアイツオ、お前らに酒代を多くやるはトウケニーモンチウチエ、後で手紙を出して来いハ回頭寄書去ホイトウヂーシンチユー

石双の米商と氣脈 閻値の利得數千圓

公價より一圓乃至一圓半高 夫を一俵廿圓以上で賣る

米穀商の閻取引に對する平糶の活動は別項所報の如く事件は濱通各地に波及しつゝあるが双葉郡濱江町西彌助(四〇)相馬郡鹿島町馬次郎(五〇)兩名は平市方部の米商と結託して共に數千圓の不当利を得てゐた。その他石城地方の近在買入れに閻取引をなせるもの左記の如くである。

▲泉村下川仲買商高野義種(四九)は同村及び小名濱、磐崎方面から二百俵を買ひ集

戦地の便り 數限りなき戦闘に 微傷だも負はず

平糶警察出身 相樂 薫

拜啓、暑くなつて参りました、其の後は暫く御無沙汰致しました不慮御赦して下さい。本日懐しの御手紙二通(四月四日並に同月廿六日付)を讀み早速拜讀致しました。それに寫眞を送つて下さいます。有難うございませう。厚く御禮申上ます。小生も皆様が既に新聞で御承知の作戦に参加いたし皇軍の一員として及ばずながら瀆刺に御禮だけを申述べます。

慰問袋の件については本當に御氣の毒と思ひますが甘しい物を送つて頂き度御願ひいたします。次に大橋さんは四月中旬頃現隊復隊致しましたのでまだ面會致しません其のうち會ひる事と思ひます。山野邊さんから「キング」を送り下されたとのことですが未だ入手致しません頂戴すると同時に御禮状を差出します。勿論長期戦の覚悟でありませうが敵は漸次ヘタパリつゝあるのであります。其の快ニュースを御覧に入れたいと心掛けて居ります。今日はこれで失禮致します。野原さん山野邊さんにも宜敷く(六〇)四)添封の押花は〇〇山突破の際取つた名も知れぬ花ですが〇〇山を想像して下さい。

炭車と轉覆

一名即死二名重傷

石城郡内郷村の磐城炭礦住吉坑々夫田村郡路村生佐藤良志(二〇)同堀井直利(三三)同伊藤宇之吉(三三)三名は去る二十四日午後七時半頃炭車に乗つて入坑の途中トラックが切れて炭車と共に數百尺の坑下に落ちた。

反當多收蘭實績 (一)

三重縣多賀郡箕田村 夏見栗田定作氏口述

五反、畑一反、桑畑一反八畝歩、

田より反當り米三石を收穫し、二反歩は二毛作として裸麥二石を收穫いたしました。家族は老母七十二歳、子供九歳以下二人と私共夫婦(夫三十九歳妻三十二歳)で五人ですが實際一人前に働くもので二人だけであります。それは春、初秋、晩秋の養蚕多忙期に女一人手間ぐらゐる息入れる外は一切私共夫婦二人で

圓を騙取したこと發覺平糶に檢査取調の上今廿六日送局

不良興業師の 婦女誘拐専門

情婦を三百圓で

石城郡磐崎村の姥の湯方へ數日來若い男女の滞宿者に舉動不審の點がある。平糶の菊地部長刑事並に笠原刑事が去廿五日本署に引致取調へて見ると男は相馬郡中村町原釜生れ不良興業師花井廣こと阿部

母テウ儀永らく病氣の處本二十 五日早曉天壽を全ふし死去致候

追而時局柄花輪供物等一切手御辭退申上候

昭和十五年六月二十五日

外 男 親 佐藤 加藤 藤 一作 邦 武 一 同

ちて轉覆し佐藤は即死、堀井伊藤の二名は頭部その他に重傷を負ひ同坑病院に於て手當を受けてゐるが生命危篤である。

廣(三)女は東京府多摩郡町田町原町田六一女給關しづ子(三)で阿部は婦女誘拐専門の強たか者所持の現金三百圓は情婦深谷(三)を騙して満州へ行つて一と旗揚げて來て妻に迎へるからと水戸市奈良居町某料理店へ三百圓で酌婦に賣飛ばしたものと判りしづ子も其の手を喰ふ一歩前で難をのがれた。

御誂ひも既製品も

高島屋洋服店

五二電三六六

ましたことも片倉會社の指導の賜と感謝を致して居る次第であります。

(三)桑園改良四項目、私は反當多收蘭を得る爲に次の四項目を入れたのであります。

一、地力増加の爲に自給の肥の増産、この目的を達する爲に但馬牛を二頭飼育致しました。普通は牛一頭で厩肥千貫位のものですが私は厩肥をもつと多く其の質も良くする爲に牛を肥牛として飼養することとし濃厚飼料を與へまして年二千貫の厩肥を得て居ります。

昭和七年に始めて農蠶業に従事致した時は只畑から桑を採つて來て蚕にやれば繭をつくるものだけにさへ考へてゐたのであります。それから三ヶ年は蚕作が不安定でありまして殊に晩秋蚕はいつも失敗することが多かつたのであります。昭和十年に私の所屬いたして居ります養蚕實行組合が片倉會社と特約を結ぶことになりまして始めて用途別桑園と曰ふことを教へられたのであります。今日蠶作が安定し反當多收を得るに至り



入梅期に 豚の衛生 (上)

入梅から真夏にかけての養豚衛生について東京府立立川種畜場が語るものを報じて見やう、

最も恐れなければならぬのはコレラ及び豚丹毒であることは申すまでもないところであるが此の二つとも其の土地の梅が熟す頃に漸く発生するのが常である、原因は消化不良から来ることは勿論であるが、その直接の原因が入梅から真夏にかけての衛生、給飼に無關心であるからである、豚であつても人間と同じであると考えへて貰ひばよい、暑ければ食欲が進まなくなるし涼しいところ風氣がよく流れる所を好むのは同じである、

食事は二十分から三十分ですつかり喰ひ盡せなければ取りあげて残りは與へぬこととで食器に残して置くのは最もよくない、平常の七分程度に與へ偏食を避けること、豚舎は清潔にして乾燥計り、蚊、蠅、あぶを防ぐこと、此のため豚の体に軽油を吹きつけてやることも一方法であり、豚舎を蚊いぶしにかけることもよい、いまは仔豚の蕃殖期であるから生後一週間から十日目頃二十日前後、二十七日、八日から三十日前後に下痢を伴ふが前二回の下痢は乳量不足のためで母豚の食餌を増せば癒るし三回目のは仔豚に糞を與へればよい、母豚の下痢には人工

カルス鹽、コロイカルを併用仔豚には次硝酸鉄を與へれば癒る、

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

内科、小兒科
大森醫院
醫學博士 大森勇
平市南町 電話二五八番
入院 應需

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番
院醫尻江

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌、たひら正宗、節約食料品

明治生命製糖代理店 山崎與三郎
電話本営業部二七〇番 店部二七〇番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
マルトモ食堂
平市四丁目(電話二二三番)

胃腸強生 ミクローゼ



ホシチエーンストアー
星製藥株式會社福島縣支部
ホシ薬舗 (平市3ノ30) 電話429番

星チエーンストア支部
効する薬に死闘しぬい酵母と異り、ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは、生存力が極めて強く、服用後、胃腸内でどんどん増殖し、強力な消化酵素を産生する特徴を有して居ります。—故に、効果は持続的、且つ強力であります。何よりの證據は、食欲が増し、快い便通が得られることです。
郵券十銭で、五日分六十錠の試服薬を急送す 東京・五反田 星製藥株式會社 M9

債券、公債、金、多田洋貨店
平市大町 電話五九一番

喫茶、酒場を兼ねた。
レストラン サロ
平市銀座街 電話五九二番
營業時間 開店：午前十時 閉店：午後十一時
御食事は午前十一時より、閉店：午後十一時限り、

食品店、洋品店、和洋食料品、日用品、化粧品、文具、玩具、子供用品、婦人用品、紳士用品、家庭用品、旅行用品、スポーツ用品、ペット用品、その他、何でも揃っています。
山崎商店
平市大町

根本 婦産科醫院
平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
入院隨時 (電話三四番)